



2016年5月25日記者発表  
(公益社団法人) 日本伝熱学会

抜山記念国際賞（第3回）は東京工業大学 店橋護 教授へ

2016年5月25日、日本伝熱学会総会（大阪市）にて、抜山記念国際賞（The Nukiyama Memorial Award）の3回目の受賞者として、東京工業大学の店橋護博士（別紙参照）が選ばれたことが報告された。同教授の乱流の熱輸送・燃焼に関する直接数値シミュレーションやレーザー計測などによる伝熱科学への顕著な寄与が認められた。2016年11月2～4日に仙台市で開催される第4回国際伝熱フォーラムで受賞講演および授賞式で賞状、楯、賞金50万円が贈られる。



店橋護 教授

同賞は、液体の沸騰現象に特異なモード変化が現れることを初めて発見し、その特性曲線がNukiyama Curveとして世界に知られる伝熱学のパイオニア、抜山四郎東北大学名誉教授（故人）の名前を冠して、伝熱学、熱科学、熱工学に関連した分野で国際的に秀でた活躍をしているおよそ50歳未満の国内外の科学者1名に、日本伝熱学会より2年毎に授与される賞である。

今回は2015年10月以来、世界の科学者、研究者宛からの推薦を公募し、国際賞委員会における厳正な審査を経て受賞者が決定された。同委員会の委員は以下の通りである。

<抜山記念国際賞委員会名簿>

委員長	吉田英生	(京都大学 教授)
副委員長	岡崎健	(東京工業大学 名誉教授)
委員	Joon Sik Lee	(副首相, 教育相, 韓国)
	円山重直	(東北大学 教授)
	Terrence W. Simon	(ミネソタ大学 教授, 米国)
	Peter Stephan	(ダルムシュタット工科大学 教授, ドイツ)
	Xing Zhang	(清華大学 教授, 中国)

(以上)